

=====

CAPSシリーズ 更新モジュールリリースのご連絡

=====

平素は、弊社パッケージをご利用いただきありがとうございます。
この度更新モジュールをリリースいたしましたのでご案内させていただきます。

////////// リリースノート //////////

対象パッケージ 総称 : CAPS for CARDNET
パッケージ名称詳細 : CAPS for CARDNET Version1.8.0
管理番号 : SR19D001
リリース日 : 2019/2/12

適用OS : RedHatEnterpriseLinux7.2(x64)
RedHatEnterpriseLinux7.3(x64)
出荷形態 : CD-ROM

変更内容一覧)

CAPS for CARDNET Version1.8.0となります。

- (1) OracleJDK11対応
CAPSの動作環境としてOracle社製JDK11.0.1に対応致しました。
- (2) TLSv1.3の対応
ユーザAPとの暗号化通信機能としてTLSv1.3に対応致しました。
- (3) Javaパス設定対応
CAPSインストーラにてCAPSで使用するJavaのパスの設定できるように対応致しました。
CAPSをインストールする前に、OracleJDKのインストールが完了している必要があります。
- (4) CARDNETシミュレータのWindows10対応
CARDNETシミュレータのWindows10上での動作に対応致しました。
- (5) CARDNETセンタ仕様変更対応
 - ・元取引要求がタイムアウト以外の場合に、CAPSが自動送信する障害取消アドバイス要求の設定値をCARDNETセンタ仕様に合わせ修正致しました。
 - <全業務>
 - 「BIT42 加盟店番号」
(修正前) 元取引要求の設定値をセット
(修正後) 元取引応答の設定値をセット
 - <銀聯カード取引業務のみ>
 - 「BIT55 IC関連データ」
(修正前) 元取引応答の設定値をセット
(修正後) 元取引要求の設定値をセット
 - <多通貨決済DCC業務のみ>
 - 「BIT6 外貨建て取引金額」「BIT51 外貨建て取引通貨コード」
(修正前) 元取引要求の設定値をセット
(修正後) 元取引応答の設定値をセット
 - ・CARDNETシミュレータが送信する障害取消アドバイス応答の「BIT42 加盟店番号」に任意の設定値をセットできるように対応致しました。

適用される修正モジュール)

全モジュールの入替が必要となります。

注意点その他)

◆動作環境

- (1) 本製品が動作する前提としてサーバにOracle社製JDK11.0.1 (64-bit版) の導入が必要となります。
- (2) 運用管理ユーティリティ、CARDNETシミュレータが動作する為に、GUI環境 (XWindow等) が必要となります。
ディスプレイの解像度は1280×1024ピクセル以上が必要となります。

////////////////////////////////////

本件に関するお問い合わせは、弊社パッケージサポートセンター まで
ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

以上